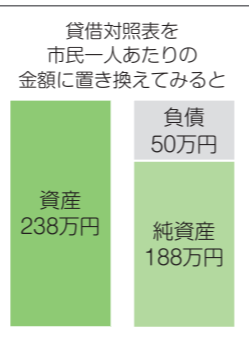


一般会計等の財務書類

- ① これまでに形成された資産 3,673億円
- ② 将来世代が負担する債務 771億円
- ③ 過去および現世代の負担済み額 2,902億円
- ④ 行政サービスにかかったコスト 655億円
- ⑤ 次年度への繰越金 31億円



令和3年度決算分の市の財務書類を公表します

※表示単位未満を四捨五入しています。端数処理のため合計額は一致しないことがあります。



問 財政課 ☎23・5113

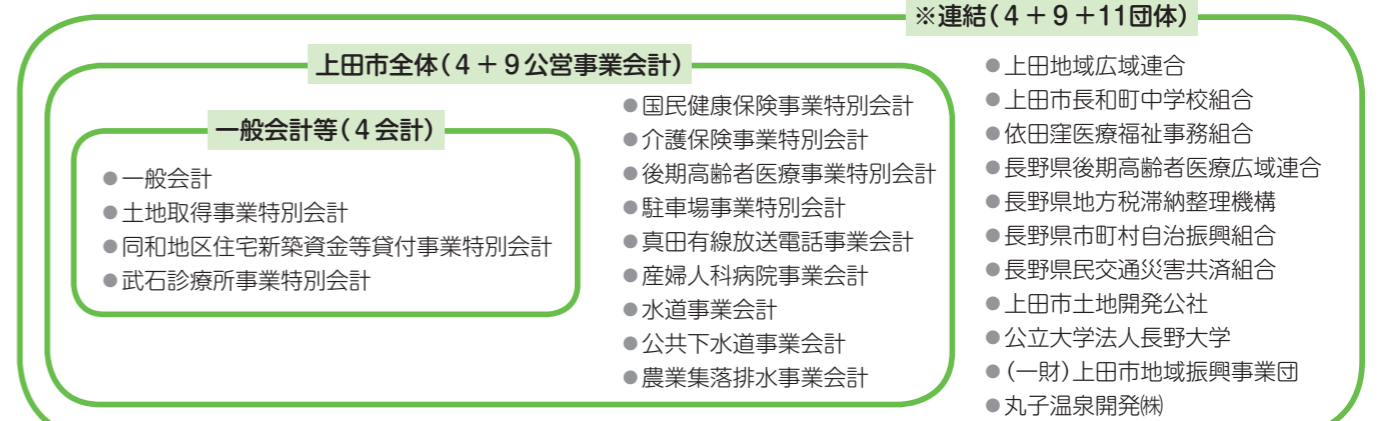
市では、資産や負債、費用をより正確に、包括的に把握するため、平成20年度決算分から企業会計的(発生主義)な手法を取り入れた「地方公会計制度」に基づく財務書類を作成しています。平成28年度決算分からは、これまでの「総務省方式改定モデル」に替わり、国により新たに策定された「統一的な基準」に基づき、一般会計等、上田市全体、連結の3種類の財務書類を作成しています。

この疑問は、この「財務書類」を見ればわかる！

- 次世代に引き継ぐ資産は？
次世代が負担する借金残高は？ → **貸借対照表**
- 経常的な行政サービスにかかったコストは？
受益者負担でどれほどコストが賄われたか？ → **行政コスト計算書**
- 経常的な行政活動や公共施設整備の財源は？
年間での資金の変動は？ → **資金収支計算書**
- 資産がどのように変動したか？
資産はどのような財源で形成されたか？ → **純資産変動計算書**

連結の財務書類

●連結範囲



※連結では、上田市全体・広域連合・一部事務組合・地方三公社・市が50%以上出資している第3セクターなどを対象にしています。

●連結貸借対照表

保有している資産と債務を対照表示した一覧表です。これまで5,271億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である3,410億円は過去および現世代の負担で既に支払いが済みであり、負債である1,861億円は将来の世代が負担していくことになります。

令和4年3月31日現在

● 資産 5,271億円 【これまでに形成された資産】	● 負債 1,861億円 【将来世代の負担】
① 固定資産(学校、道路、公園など) 4,928億円	① 固定負債(地方債など) 1,682億円
② 流動資産(現金、基金など) 342億円 (うち現金預金) (204億円)	② 流動負債 179億円
	● 純資産 3,410億円 【過去および現世代の負担】



資金収支計算書

1年間の資金の増減を性質別に表しています。資金は、1年間で12億円増加し、期末残高が31億円になりました。業務活動収支などの黒字でその他収支の赤字を賄えました。

当期収支【内訳】	12億円
① 業務活動収支	57億円
② 投資活動収支	△41億円
③ 財務活動収支	△5億円
2年度末資金残高	19億円
⑤ 3年度末資金残高	31億円
3年度末歳計外現金残高	6億円
3年度末現金預金残高	37億円

貸借対照表

上田市では3,673億円の資産を形成してきました。そのうち、純資産である2,902億円は過去および現世代の負担で既に支払いが済みであり、負債である771億円は将来の世代が負担していくことになります。

令和4年3月31日現在

① 資産 3,673億円 【これまでに形成された資産】	② 負債 771億円 【将来世代の負担】
① 固定資産(学校、道路、公園など) 3,540億円	① 固定負債 694億円
② 流動資産(基金、現金など) 133億円 (うち現金預金) (37億円)	② 流動負債 78億円
	③ 純資産 2,902億円 【過去および現世代の負担】

行政コスト計算書

1年間の行政サービスにかかったコストと財源を表しています。令和3年度の経常費用は661億円です。経常費用から経常収益(使用料や負担金など)21億円を差し引き、臨時損失を加えた純行政コストは655億円となっています。

令和3年4月1日～令和4年3月31日

● 経常費用 661億円	● 経常収益 21億円
① 業務費用(人件費、物件費など) 331億円	① 使用料など 11億円
② 移転費用(社会保障給付など) 329億円	② その他 10億円
● 臨時損失 17億円	● 臨時利益 2億円
① 災害復旧事業費 16億円	④ 純行政コスト 655億円 (市税などの一般財源で補てん)

純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の1年間の変動額を表しています。純資産は、1年間で59億円増加し、期末残高が2,902億円になりました。市税などの経常的な一般財源が純行政コストを下回っていましたが、3年度において過年度の有形固定資産の計上額を見直したことで、純資産が増加しました。

期首純資産残高	2,843億円
本年度純資産変動額【内訳】	59億円
① 純行政コスト	△655億円
② 財源(市税、補助金など)	627億円
③ その他(無償所管換など)	87億円
本年度末純資産残高	2,902億円



市ホームページ

詳しくは市ホームページをご覧ください。